

高齢消費者・障がい消費者見守りネットワーク連絡協議会

つながる



Vol. 2

令和元年 10 月発行

Topic “誰ひとり取り残さない” ICT 社会の実現 を目指して、私たちが取り組んでいること！

見守りネットワーク連絡協議会の会員様から、具体的な見守り活動の取り組みについて、ご紹介頂きましたので、皆様と情報共有致します。

NACS こと、公益社団法人 日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会では、「シニアの ICT リテラシー向上啓発活動」に取り組んでいます。

現在、大雨や台風等の災害・健康・製品の安全(リコール)の情報収集だけでなく、ショッピングのような日常の身近な情報の収集や、親族や知人とのコミュニケーションを取るためにもインターネットや ICT 機器が欠かせません。

政府や地方公共団体、民間企業による ICT の活用を進める中、ICT 社会の進展に“ついていけないシニア”が新たな社会的孤立・弱者となる可能性がでてきました。

NACS では「ICT リテラシー向上啓発事業」を立ち上げ、全国展開しています。この啓発事業では、サロンのような身近なミニ講座(無料)で、少人数(3名以上)の ICT 初心者が、インターネットの安全かつ楽しい使い方を気軽に学んで頂き、豊かな消費生活を送って頂くことを目的としています。



昨年から ICT 初心者を導くミニ講座のリーダー養成ワークショップを開催しています。受講したリーダーたちが自分の住む街でミニ講座を開催することで、ネットワークを広げています。さらに、シニアを狙った消費者トラブル情報の適宜配信や、スマホを利用した見守りネットワークの構築等、様々な活用も期待できます。このつながりの先に“誰ひとり取り残さない” ICT 社会の実現があると、考えています。

[NACS ICT 啓発グループ nacs-jigyoy1@nacs.or.jp](mailto:nacs-jigyoy1@nacs.or.jp)

参考: スマホの購入を考えているシニア向けの教材
「はじめてのスマホ～夏久すみれさんのスマホ購入物語」